

# 令和6年度事業計画

## 1. 受託事業（福井県から）

事業名	仕様	内容
広報誌 「あっとほうむ」 の作成	年3回発行 カラー4色刷 A4判6ページ 250,000部	原子力の諸課題に関する県の対応や事業者の取り組み状況、県内原子力発電所の運転状況、発電所周辺の放射能調査結果等を分かりやすく解説する広報誌を作成し、県内の全世帯に年3回配布するほか、県内の学校や公民館、関係機関にも配布する。 また、各号の点字版と音声版を作成し、目の不自由な人たちにも配布するほか、広報誌用アプリでも配信する。
放射線体験教室・ 原子力講座等の 開催 (一般対象)	通年	広く県民に放射線の基礎知識を正しく理解してもらうため、館内で放射線体験教室を定期的に行うほか、来館団体の要望に応じたエネルギーや原子力に関する講座を随時実施する。また、県内の公民館や公共施設などに出向いて、体験教室や講座も開催する。
放射線体験教室 の開催 (学校対象)	通年	県内の小中高等学校を対象に、放射線の基礎知識セミナーや霧箱装置を使った放射線の観察、測定器を使った測定体験などを館内および出張教室として実施する。
出張放射線企画展 の開催	5回	家族や若年層を対象に大型商業施設等で、模型を使った発電の仕組み解説や測定器を使った自然放射線測定体験、クイズ形式のパネル展示など、原子力と放射線について参加体験型の企画展を開催する。
講演会等の開催	3回	エネルギー問題や地球環境問題、原子力発電の役割や廃止措置等をテーマにした専門家による講演会を3カ所で開催する。また、アーカイブ配信も実施する。
科学実験教室・ 工作教室の開催	通年	館内で電気やエネルギーなどに関する科学実験教室や科学工作教室などを開催するほか、団体の来館者に対しても実施する。
巡回エネルギー 広報事業の開催	6回	原子力・放射線・再生可能エネルギーについての基礎知識パネル等を製作し、県内の公共施設や自治体等で普及活動を展開する。
エネルギー 学習教室の開催	通年	再生可能エネルギーについて正しく理解してもらうため実験等を通して学習する体験教室やクイズラリーを館内で開催する。
エネルギー 体験教室の開催 (学校対象)	通年	県内の小中高等学校を対象に、原子力や放射線、エネルギー等に関する体験教室を館内で実施する。
エネルギー 学習バスの実施 (学校対象)	通年	県内の原子力・エネルギー関連施設と当センターを見学する県内の小中高等学校等に対し、バス借上げ料金の一部を補助する。

再生可能エネルギー学習事業の開催	通年	展示館エリアにおいて、各ブースの展示物に関連した参加体験型のワークショップなどを休日および夏休みに実施する。
再生可能エネルギー企画展の開催	3月	春休み期間中に、再生可能エネルギーについての工作教室やクイズラリー、パネル展示や燃料電池で動く乗り物の試乗体験などを実施する。
インターネットによる情報発信	随時	展示館および各種事業の案内と原子力や放射線の基礎知識、県内原子力発電所についての最新情報を随時配信する

## 2. 自主事業

事業名	仕様	内容
展示館デジタルサイエンスガイド制作(新)	通年	館内の各展示物から学ぶ学習ポイントや科学の原理についてQRコード形式の解説ガイドを制作し、各展示物に設置する。
原子力ニュース解説通信(新)	12回	原子力トピックスについてわかりやすく解説したデジタルニュースをHPやSNSで発信する。
エネルギー・カルチャー講座の開催	3回	大人を対象に、エネルギー講座とカルチャー教室をセットにした体験教室を実施する。
春休みイベントの開催	1回 4/1～4/7	春休み期間に、エネルギー体験ラリーやワークショップ・科学実験ショーなどを通して、エネルギーの基礎知識が学べるイベントを開催する。
GWイベントの開催	1回 5/3～5/6	GW期間に、科学や原子力について、親子で体験学習してもらうイベントを開催する。
夏休みイベントの開催	1回 7月14日	エネルギーや放射線などについて学べる体験教室や科学に関するイベントを実施する。
こどもの広場の開催	1回 10月27日	電気事業者4社と共催で、電気や発電のしくみについて、親子で学習してもらう教室や科学工作・スペシャル実験ショーなどを実施する。
SNSサイエンス情報配信事業	通年	FacebookやInstagramなどSNSを利用して、科学に関するミニ情報や原子力・放射線の基礎知識を随時配信する。
各種広報機関および科学館との連絡会の開催	2回	県内立地4市町と4電気事業者の原子力広報担当者との連絡会を開催し、事業運営等の連携を深める。また、全国の原子力広報機関連絡会および全国科学館連携協議会主催の研修会等に参加する。